

式 辞

和らいだ春の日差しの中、中庭の藤のつぼみが膨らみ咲く時を待つ今日の佳き日、岡山県議会議員内山登 様、和気町長 草加信義 様をはじめ、多くのご来賓並びに保護者の皆様方をお迎えして、かくも晴れやかに 平成三一年度 岡山県立和気閑谷高等学校 入学式を挙げて下さることに深く感謝を申し上げます。

ただ今入学を許可された一二〇名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、九年間の義務教育を終え、高校入試の関門を突破して、ただ今をもって本校の生徒となりました。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

高等学校には、定められた単位数を履修し修得してはじめて卒業が認められるという関門があります。また、公職選挙法の改正によって一八歳以上が選挙権を持ちます。皆さんには三年後、投票に行くことよって有権者としての責任を果たすという関門も控えています。さらに、民法の改正によって令和四年の四月には新成人となります。そのためには、高等学校の三年間で自分の能力や知識を成人の規格に合うように成長させていくことが求められます。こうして皆さんを見てみると、学習はもとより部活動やボランティア活動などに精一杯取り組んで自らを成長させよう、そして自分らしい生き方を見つけようという気持ちでいることがひしひしと伝わってきます。大いに期待しています。

ご家族の皆様にお祝い申し上げます。お子様が自立に向けて大きな一歩を踏み出されました。ご家庭におかれましても、お子様が自分の考えを自分の言葉でしっかり伝えられるようにご支援いただき、自立を後押ししていただければ有り難く存じます。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さん、高校生活のゴールである三年後の卒業の日に、自分がどんな人間になっているかイメージしてみたことはありませんか。

先日引退したイチローに続いて、日本人選手四人目の大リーグ新人王に輝いた大谷翔平さんは、高校一年生のときに作った目標達成シートのゴールに「ドラフト一位で八球団から指名されること」と書き、それを達成するために何をすればよいか、体づくり、コントロール、球の切れ、メンタル、スピード、人間性、運、変化球の八つの項目ごとに具体的な行動目標を書いて一つひとつ達成していったそうです。

皆さん一人ひとりが、自分のなりたいゴールの姿をイメージし、そこに到達するために、いつ・何をすればよいかをゴールから逆算して考え、実現してゆけば、素晴らしい三年間になるものと期待しています。

また、その際、皆さんが閑谷学校の歴史を継ぐ高校生であることに思いを致してください。

閑谷学校は、身分制度が厳しかった江戸時代、武士の子どもだけが学ぶ藩校とは別に、庶民の入学を許可する学校として創られた、日本で最も古い学校です。学びたい意志をもった若者を分け隔てなく受け容れ、一人ひとりの能力を最大限伸ばす学校として持続発展し、来年、三五〇年を迎えます。

在校する先輩たちは、三五〇年を迎える和気閑谷高校生としてどうあるべきか、「行動憲章」として言葉にしてくれました。三つあります。一つ、絶えず目標を立て、懸命に取り組む。一つ、失敗を意味あるものにする。一つ、仲間の挑戦を支える。

皆さん一人ひとりが、和気閑谷高等学校の歴史を継ぐ者であることに誇りをもって自らを鍛え、大きく成長して社会に羽ばたいて欲しいと願い、式辞といたします。

平成三一年四月九日

岡山県立和気閑谷高等学校長

香山 真一